

補助金評価シート

区分	重点以外	補助根拠	その他補助	開始時期	平成28年10月1日	終期	平成31年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]		新潟市保存樹等の松くい虫防除補助金 保存樹等の松を松くい虫被害から保全し、良好な自然環境を確保するため、保存樹等の松の所有者が実施する松くい虫防除（薬剤の樹幹注入・散布・土壌灌注のいずれか）に係る費用の一部を補助する。 ●対象者：保存樹等の松の所有者 ●補助額：対象経費の2分の1以内（上限額：保存樹等の松1本あたり5千円、保存樹林20本以上の場合は10万円）					
款・項・目		土木費 公園緑地費 緑化推進費					
所属等		土木部 公園水辺課 企画係				電話 025-226-3065	

年 度		28年度（1年目）	29年度（2年目）	30年度（3年目）
予算額等の推移	予算(千円)	450	800	400
	決算(千円)	156	115	400
補 助 率		1/2	1/2	1/2
目 標		保存樹等の松の松くい虫防除を推進する。 <目標が数値でない場合の評価方法> 防除実施状況がわかる写真の確認により、保存樹等の松の松くい虫防除が実施されたことを確認する。		
目標に対する達成度（指標）	達成率100%以上			
	達成率 80%以上			
	達成率 50%以上			
	達成率 50%未満			
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください	補助金を交付した4件について、松くい虫防除実施状況のわかる写真を確認。適正な防除が行われた。	補助金を交付した2件について、松くい虫防除実施状況のわかる写真を確認。適正な防除が行われた。	補助金を交付した松について、松くい虫防除実施状況のわかる写真を確認し、適正な防除が行われる見込み。
補助事業者による情報の公表		保存樹等標識への防除実施済証の貼付		

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	○
		b. 補助率は1/2以内か	○	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	○
		c. 補助額が5万円以上になっているか	×	g. 目標は数値化されているか	×
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	○	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	○
	×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組> 単木の保存樹の補助額は、薬剤価格と施工額においてコストパフォーマンスが最大となるよう検討した結果を受け、上限額5,000円としている。今後は、運用実態を参考に薬剤の見直しを検討し、この制度改善に伴う上限額の見直しについても検討する。 <g～hにおける取組> 松くい虫防除の実施適正化による保存樹等の松の保全の質の向上が目的であるため、目標の数値化は難しい。そのため、施工状況がわかる写真や書面を提出していただき、適切に施工されたことを確認している。			
	目標未達成の原因分析	<期間（3年）を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか>			
		① 拡充・改善（補助率、補助額、補助対象経費、その他） ② 継続 ③ 廃止 ①～③の評価理由：松くい虫被害が市内全域で進行している一方で、保存樹等の松のための当補助金は申請件数が伸び悩んでいる。この原因は、補助上限額が低く抑えられているため、現場状況等に合わせた対策が取り難いということがある。例えば、薬効が長い代わりに単価が高い薬剤の使用が困難であり、場合によっては自己負担割合が高くなることもある。そのため、所有者を対象としたアンケート結果等を踏まえた上限額の改定を実施することで、保存樹等の松の松くい虫防除を促進し、民有の重要な松の保全及び市内の松くい虫被害の収束を目指す。			